# データ放送サービス

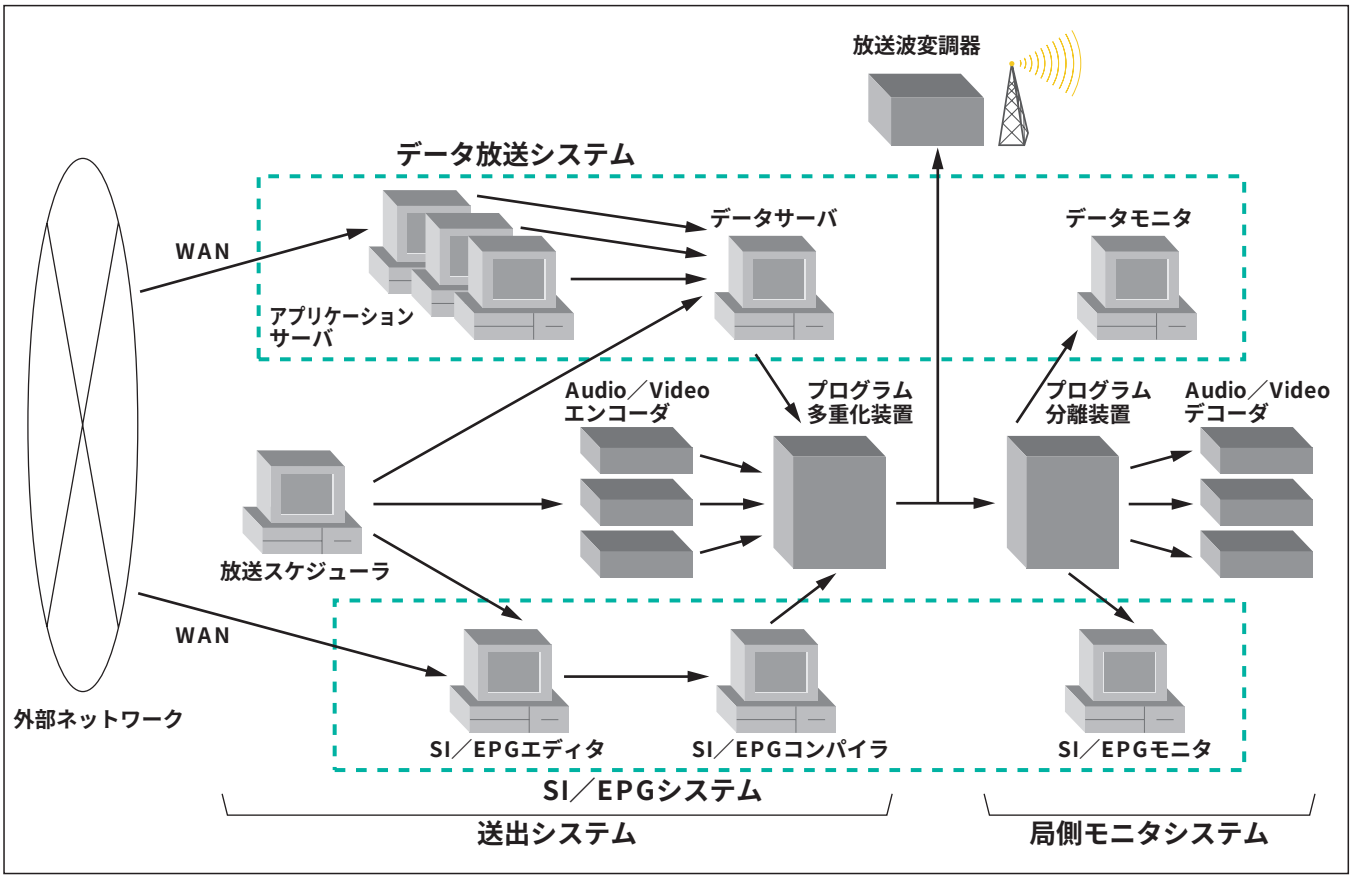
横山幸雄* 厚井裕司**
泉 丙完* 内海義夫***
福地雄史*

**要 旨**

近年，テレビ放送の新しい付加価値サービスとして，データ放送サービスが注目されている。データ放送により，ニュース，天気，株価情報といった鮮度を要求される情報やテレビ番組の補足情報などをタイムリーに視聴者に提供することや有線接続の付加による双方向サービスが可能になる。さらに，ディジタル化の恩恵による多チャネル化に対しては，EPG(Electronic Program Guide)と呼ばれる電子番組案内が不可欠な要素であり，これも広義なデータ放送サービスとして位置付けることができる。

EPGを提供するためには，局側にSI(System Information)／EPGシステムを構築することが必要であり，三菱SI／EPGシステムでは米国ATSC(Advanced Television Systems Committee)委員会のPSIP (Program and System Information Protocol)規格に準拠した仕様となっている。このシステムは，送出側のサーバ機能と送出データの正当性をチェックするためのモニタ機能からなっている。

一方，データ放送システムでは，SI／EPGシステム同様に，ATSC規格に準拠したデータ放送サーバ機能とモニタ機能からなっている。今後，このプラットフォーム上に各種アプリケーションを展開する予定である。




**データ放送サービスのシステム構成例**

三菱電機のディジタル放送用コーデック装置とSI／EPGシステム及びデータ放送システムの構成関係を示す。両システムとも外部からの情報を取り込むことができ，収集した情報をATSC規格に準拠する形に編集し，変換処理を行う。さらに，放送スケジューラからのタイミング指示によってプログラム多重化装置に対し送出を行う。これらのシステムにより，トータルなディジタル放送局システムの構築が可能になる。

*情報技術総合研究所 **同研究所(工博) ***事業開発センター